

379号 今回のテーマ

簡単解説!

ECMO (エクモ) とは?

エクモ導入のお知らせです。



多くの方にわかりやすく表現しています、
プロの方に、寛大な心でご覧ください。



[発行] 社会医療法人 岡村一心堂病院

岡山市東区西大寺南2-1-7 Tel 086-942-9900

作成部門 ▶ 広報部

発行日: 2020年10月22日(木)



Homepage

今回のお知らせは、ECMOの導入です。2020年10月7日、あらゆる状況に対応できるよう新たな医療機器、ECMO (エクモ) を導入しました。この言葉、コロナ第一波の際にニュースや情報番組でよく耳にした言葉だと思います。わかりやすく解説をしてみたいと思います。

✓ **まずは、エクモを知る為に**・・・ Extra Corporea Membrane Oxygenation の頭も文字をとってECMO (エクモ)

インターネットで調べるとこの略、「体外式膜型人工肺」や「体外式膜型人工肺による酸素化」とできてきます。分かりにくいので、簡単に表現すると「体の外で機械により、血液に酸素を入れて体に戻す装置」になります。人工呼吸器との違いもここにあります。さて、よく聞く3つの言葉「酸素吸入」「人工呼吸器」「エクモ」それぞれの違いをみてみましょう。

01. 酸素吸入

酸素吸入の一番の目的は、吸っている酸素の量を増やしてあげて、血液中(動脈の)の酸素量を正常に保ち、全身に十分な酸素が行き渡るようにすることです。先般「トランプ大統領 酸素吸入か!?!」のニュースもこの処置にあたります。

02. 人工呼吸器

次に、人工呼吸器ですが、ここから少し様子が変わります。人工呼吸器は「自分で呼吸ができなくなっている患者さん」に、気管支まで入れたチューブを通して空気や酸素を送り込みます。強制的に肺を膨らませたり、しぼめたりして肺を動かします。人工呼吸器には2つの換気モードがあり、全く呼吸のできない方の呼吸をすべて機械で行うモードと、患者さんの自発呼吸をサポートするモードです。強制的に肺を動かすので、肺を痛める可能性もあります。



03. ECMO (エクモ)



さて、「酸素吸入」も「人工呼吸器」も体内に酸素を送り込む目的は一緒ですが、肺の機能のダメージが大きく正常に働かなくなった場合、人工呼吸器で強制的に肺を動かしても、体内に酸素が取り込まれません。そこで登場するのが今回の本題、エクモです。肺に頼らず、血管から直接血液を抜いて、体外で機械により肺機能のように血液に酸素を送り込み、二酸化炭素を抜いて、エクモのポンプ機能によって患者さんの血管に血液を戻します。エクモは体外で「肺の機能」と「心臓の機能」を行うことができます。この間に、肺を休め、治療を行います。コロナ第一波の時は、国内外で肺炎が重症化する報告が多くあり、患者さんが、人工呼吸器では酸素を取り込むことができないほど肺にダメージがあるため、このエクモが注目されました。

— 実際のエクモの写真はWebへ —

ホームページ
では・・・

一心だより1ページの中ではお伝え出来ないプラスアルファな内容も掲載!
ホームページのニュースコーナーでは、重要な発信はもちろん、時には医療と関係ない内容までバラエティゆたかに更新頻度多めでお届けしています。是非、ご覧ください。

